

特44

773

参宮
必携

玉

の

聲

全

014383-000-8

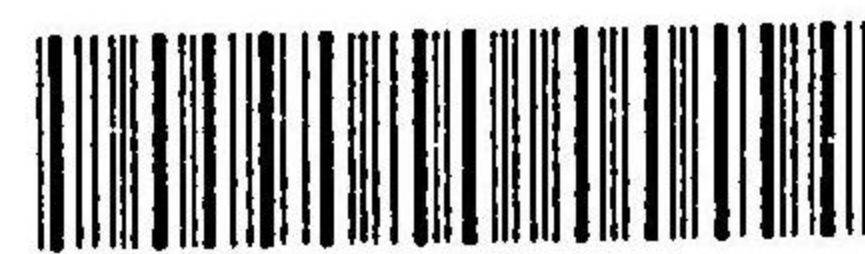
特44-773

玉の聲（参宮必携）

小田 新三郎／著

M23

ABB-0749



特44

773Vc3260/23



人

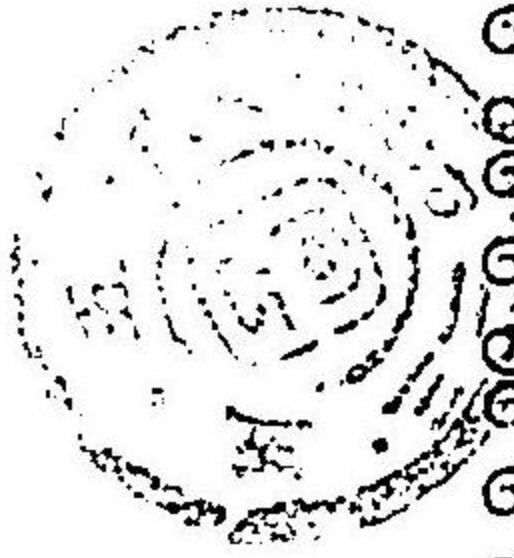
中

文

そののののの

のののののの

これ



神風や深き御恩の御蔭よて永き月日
 を遊びなほ詣て拜すを行れ夫兩宮
 の内外神社を稱し奉る生ある者敬拜
 せぎんばあるべからん況や人倫よれ
 いてや一日の恩大ひなりとかるを積
 年大明の高徳よより風雨時節國家安
 寧恐れ敬ひ尊びざらんや

御參宮通行筋伊勢神社名所築案

桑名港 名産シグレ 多度神社 四日市港 諏訪神社

神戸町 白子村 フダマン 櫻アリ 寺家村 ソメモノカミキリ 形イロノアリ

部田 ス、カゴへ追分 一身田村 椋本村 ゼニカ ケマツ

關町 坂下村

明治二十年三月

皇太后宮大廟へ 御參拜ノ節大竹屋高家傳次郎方ニテ

不斷櫻 御詠覽ニツキ

杉皇太后宮太夫 御詠歌

おふみ路の雪の寒をもわすれけり

神風や深き御恩の御蔭よて永き月日
 を遊びなほ詣て拜すを行れ夫兩宮
 の内外神社を稱し奉る生ある者敬拜
 せまんはあるべからん況や人倫よれ
 いてや一日の恩大ひなりとかるを積
 年大明の高徳よより風雨時節國家安
 寧恐れ敬ひ尊びさらんや

御參宮通行筋伊勢神社名所樂案

桑名港 名産シグレ 多度神社 四日市港 諏訪神社

神戸町 白子村 フヤン 櫻アリ 寺家村 ソメモノカミキリ 形イロノアリ

部田 スノカゴヘ 追分 一身田村 椋本村 セニカ ケマツ

關町 坂下村

明治二十年三月

皇太后宮大廟へ 御參拜ノ節大竹屋高家傳次郎方ニテ

不斷櫻 御詠覽ニツキ

杉皇太后宮太夫 御詠歌

おふみ路の雪の寒をもわすれけり



ふたんざくらの花も坂下

内舎人松浪資之氏 御詠歌

長閑なる此れほみよの庭さくら

いつも春とて花のさくらん

元三重縣知事石井邦猷氏 御詠歌

けふよりの不斷櫻も世よ芽出て

雲のうへよもよほひ初けり

津市 公園地アリ アユギ浦 芭蕉

月の夜になよをあこ木になく千鳥 芭蕉

結城神社 祭日ニハ競馬、戟劔アリ

島貫橋長百四十四間

香良洲神社 櫻並木 八丁

女經行守モラセ

玉フト云フ

●三味歌

花のいろこそうるは
しき初色そむる元日



ざくらひがんざくらよこさくらやたかきかよいト山ざく
られもいそめよやちとざくらとたれさくらようばさくら
色かあらそふいせさくらいつよたなトき江戸さくら恐び

そめよとはつさくら玉づさかへとれそざくらたがそでふ
れといとさくらうこんさくらも咲そろいほたんさくらよ
ひさくらや花のふりそでやゑひとへ色よろつりこふば
ひさくらこほれてよほふ花さくらかほりぞつむ春がす
みゑんとトせつの色さくらぬるゝたもとい花のつゆびん
のほつれのとほらとま戀路の風とれもいとがちぎりの風
かいそかせか神のちかひのかせならんたのとかりけるも
ふでなり

●同

春夏の海邊よ家の造りたきはま松風よ松露とりたれやめ

あそびそて枕しろたへあゆみ貝ひろいことのはぐさのふ
たへぎぬよのよ聲あるいとちどりねもかけのこるいせさ
くらいくよたへせぬ香そでかや

小野江村 天白村 長野エへ道分 長野街道同所ヨリ

久居町へ越ス所 桃林反別二十四丁

禍貴一生貧一生芝座羣衆是人情 不知不覺皆如夢 胡蝶
一生仙一生娟々桃花瓢飲如雲 品女争紅天地煉々

松ヶ崎村 安保越道分 松坂町 同大橋 ランカンツキ
ボチシ十五

櫛田 ハン長八十五間 宮川 名ブットナフデングク

宮川町ヨリ浦口町へ近道今世人通行 浦口町

岩坂ゴへ 高見ゴへ 荷坂ゴへ 同町ヨリ下參道

岩坂ゴへ 通行伊勢地村大字 御嶽 道路ヨリ凡三丁

隔 櫻大樹兩邊ニ連リ其丁凡十丁内 春季詠覽美景

●三味歌 ふかいたよからたか山みれのゆさかかすみか
よトともみゆるあれのゆせトの花さくらよアレハいせト
のさくら花ヨ

同唐崎松とけふりくらべ

たのしきや年月かさね花心戀し床しの日と千度たへぬれ
もひを千代かけて情よ義理のある物よ花のちぎりもそ
ふたよのちと色よなりゆく戀衣姿くらべん花の袖いつに

れふ夜の鳥のこへ二せと三せのちかいよてかわらぬ松の
いろみどり花の粧千代八千代れふて立名が立名の内かあ
わで立名の花のつれこのふれもいのかぎくを夕邊のゆ
めの春がすみあけほのれしむ心と心戀實情ぎりの山引よ
ひかれぬあいぎまふれたト飾の床の花こけしたもひのあ
さねがみ心のいかで通ぎらん千里をかけて雁か縁のたよ
り御見をまつのことの葉

伊勢地村ノ東方 多氣村ニ北畠舊跡アリ 城郭山 領釵
ノミチト云フ 同所古泉水ニ屏風石 琴石 名石二十斗
リアリ

國日遠 法統業 情逢水
 多山 仗内名 松意 衡茅
 金因寺 多 間 發 墨 劍
 峯 人 城
 都 多 聲 逢 年 作 鏡 竹 生

荷坂ゴへ街道野尻大神宮アリ

山田 辻久留町 中嶋町 二俣町 能見山ゴへ 鸚鵡石

宮川枝上流 ノビ山道筋へス、ム

聲音應ス神在カ如シ

- 山道のさるよとわはやきトの聲
- けんごんの聲て妻乞雄さしかな
- 踞うづくまるたひひよ驚きさしの聲
- いもと脊の中を隔る子さしかな

夫雉子ヲ育ス其行嚴也雌孕雄共ニ心得厚雄雌ニ良餌ヲ以
 助ク其子育スルニ隨ヒ雌雄良餌ヲ子ニ授ク故ニ食用子ニナルマデ雄ニ毒アリ子

育スルニ應シ 無言ニシテ子ノ災害ヲ慮ル今人トシ妊娠中及
唯ニ毒アリ ヒ出產醫ノ治ヲ名トシ其實ニ不當アリ俗傳ヲ唱ヘ過テ
怠リ生育緊要ニ疏ルトキハ其子疳驚風 馬脾風 慢驚風
且癩痢等其因胎毒塊ヨリ作スキハ可怖或勞瘵トナルハ
難治ニ極レリ胎毒根サスヨリ發ハ全治ノ指ス所ナシラズ
生育ノ緊要行フ鮮シ夫人慎マサルヘケンヤ
文宜曰 聲色之於以化民末也ト

愚思

愛而去惡 惡而想善 其愛乎

山田 常盤町 下中ノ郷町 八日市場町 一志久保町

宮後町

北下參道
東參詣

下馬

御橋

豊川橋ト云フ

楠ノ木

清盛楠ト云フ

鳥居

四丈殿

五丈殿

九丈殿

神樂所

御供所

大麻所

洗手所

御川池

鳥居

板垣御門

宿衛屋

外玉垣御門

中重鳥居

内玉垣御門

瑞垣御門

東寶殿

西寶殿

外宮正殿

豐受皇大神宮

御饌殿

神馬

神馬

御橋

神苑

別宮

神山

高座山

風宮

土ノ宮

高ノ宮

以上

田中中世古町 豐川町 岡本町 尾上町 倭町 古市町

イセナンド踊アリ 春陽亂滿タル花ノ如シ美々麗々

有志衆人遊覽アレ

久世戸町 (鳥羽道アリ) 中ノ町 櫻木町 浦田町
中ノ切町 宇治館町

鏡石 五十鈴川ノ上流凡十五丁

古昔ヨリ昭晃

宇治橋 兩御鳥居 ランカンボチシ十六

御裳濯川 御ハシノ下ナ云フ總名五十鈴川ナリ

五十鈴川

下馬

鳥居

時司雁館

洗手所

神馬

鳥居

神樂殿

御祓殿

御供殿

酒殿

中貴御倉

鳥居

宿衛屋

四丈殿

五丈殿

坂垣御門

外玉垣御門

八重賢木大鳥居

内玉垣御門

蕃垣御門

瑞垣御門

東寶殿

西寶殿

内宮正殿

天照皇大神宮

御稻御倉

外幣殿

神馬

神苑

神山

神路山

別宮

荒祭宮

風日祈宮

以上

磯岩岨（カサノサキ）

正殿ヨリ隔テ凡二里世ニ傳フ天之岩戸岩中へ入ルヲ禁ム

朝熊岳

絶景

（万金丹屋アリ）

●三味ウタ 九けへほりて四方ながむれば樹々よ花さき
九きの音や白さかふ商舟魚舟帆かけおね遠州なた向へト
ま「ミエトへ

二見

遙拜

賓日館

御休憩所

同所へ趣三味音ナ
キケバ

わたりそめたい虹の
はしそまりたいとい
花のいろたよびない
とてほれまゐものか
とづがふせやのあさ
ひかや 「ヨイヤチ

茶やの邊よイてよふすいかよとたづねとよふりわけが
みのことぐさに

○浦の千尋の海なれやよせなみたつ浪くら浪のわれても



糸にあわんとぞたゝ
よふ中にいもせい
と大ふ七五三しちごさんのその
間よりふとぎなりけ
り大晃明「うみ山さ
りもきへはれて常暗
界を御守言よつさせ
ぬありかたさめでたかりける神世なり



其容兒ヲ詠ムレハ髪髪ニ櫻蘭ヲ笄シ口ハ桃蕾ノ綻ニ似タ
リ頗清ニ情ヲ含ミ齒ハ水晶ヲ連子タルニ異ス芙蓉ノ顔揚

柳鮮姿起居柔順能ク人ニ下ル厚慈愛情其行衆ニ秀粧姿一
詠眠ヲ絶ス服美ナラズシテ艷色近隣ヲ暉ス旅の伊勢路の
いとさくも又會フコトモ片糸ノ別レノ袖の香ニ匂フ花ヲ
惜ム鶯のみどりの袖を跡ニナシ行歩道路ニフミ迷ヒ旅ノ
路慰ノ朝曇リ三步ノ進ミニ歩戻リ戀ノ千尋ノ濱ツタイサ
シ汐ミナ汐身ニ張リ沐浴齊戒朝日ノ拜
三光昭々覆育大也

皇帝愛民德於天地充是國家之福孽

今由内外而喻重内居禮察外而徒義所謂於父有爭
子則身不陷於不誼不流惡而日々新乎古人曰有生

者皆人也爲長人倫之行先禮乎合宜義也故禮與義不
可在不厚行焉夫生民農朝早昏暮後寒暑耕田勞苦商工
日夜心配不暇各格捧租稅於國用拋家事有命令則
如身塵芥聚而兵隊散而農商工國風所宜先德也

聖策曰 其富足以備禮

今爲國人流轉於外道走於近効小利結定約或區々
奮文言良民煩等豈容以私害公耶假立雖示高談辯
議外天下國家滅其天常則子焉而不父其父臣焉而
不君其君民焉而不事其事天道亂而日月星辰不得
其行地道亂而山川不得其平人道亂而不得其至情

則如何

詩ニ曰 心乎愛矣遐不謂矣

故禁_下亂_レ常背_レ德逆_二天之時_一而危_中有功之 大君_上

檢_二錯亂_一願_二怠_一勅_一肅_二敬祀事_一道_二孝祖宗_一守_レ國

不_レ徒_二私曲人々省_二勞苦之明_一處_レ化更互演繹心洗而

去_二人慾之私_一主_二其本心之正_一破_レ染_二異怪定約_一暹

然有_レ開_二本朝之神門_一天降_二百祥_一則風雨順和五穀豐

熟疫腦退散四海平定武運長久家國安寧福壽於子孫流夫

成功天也

文ニ曰 誠者天之道也 又曰 誠暢_二天地_一通_二神明_一時

令雖_レ有_レ陰謀計策旌_二別_一淑慝_一庶乎祈_二父子之兵隆_一

兵書ニ曰 士衆一則軍心結

又曰 攻守ハ一ノミナラント

明治二十三年一月

御製

寄國祝

あら玉の年をむかへてよろづ民

ひとつころろに國祝ふらし

御歌

神世より根さしかわらぬあしわらの

國の榮を限りしられぬ

非地愚敢引二今古一以驗天未レ然懷レ義居レ禮敬讓忠信
不レ失二其本一爲レ下不二敢私一則無二爲一非者一無レ私
則天下爲二一家一故二脩レ身重二國政一群曲化レ直天下
和平災害不レ生安二其生一富二其家一子孫快樂珍玩以悅
力而用間跣步有二拜禮一尙不レ待二尊命一而可レ趨二慥
々大義一乎

易二曰一鳴鶴在陰其子和之

鄙生

勢南郡一志郡大井庵土單寒ノ田夫誦閱唯徒年月送思不
得二奉酬一日夜戴大恩一累世蒙二寬厚敦朴正政一雖二

聊拜禮之細一以二短小冊一欲レ令レ爲參詣行步便一案
案記最無レ才無智昏昧而不レ知レ所レ以稱レ事夫道無レ
窮心欲レ言而不レ逮震々恭々以驗世人些納莫レ嗤二舛
送一到二提犁一恐恭敬白

明治二十三年四月十七日印刷
同 年同月廿二日出版

~~版權所有~~

著者
發行者

三重縣伊勢國一志郡大井村
大字井生百二十九番屋敷

小田新三郎

印刷者

三重縣伊勢國一志郡久居町
大字本町四十六番屋敷

松田猪之助

發行所

三重縣伊勢國度會郡山田町
大字櫻木町七番地

敬慎堂

正價金六錢

